

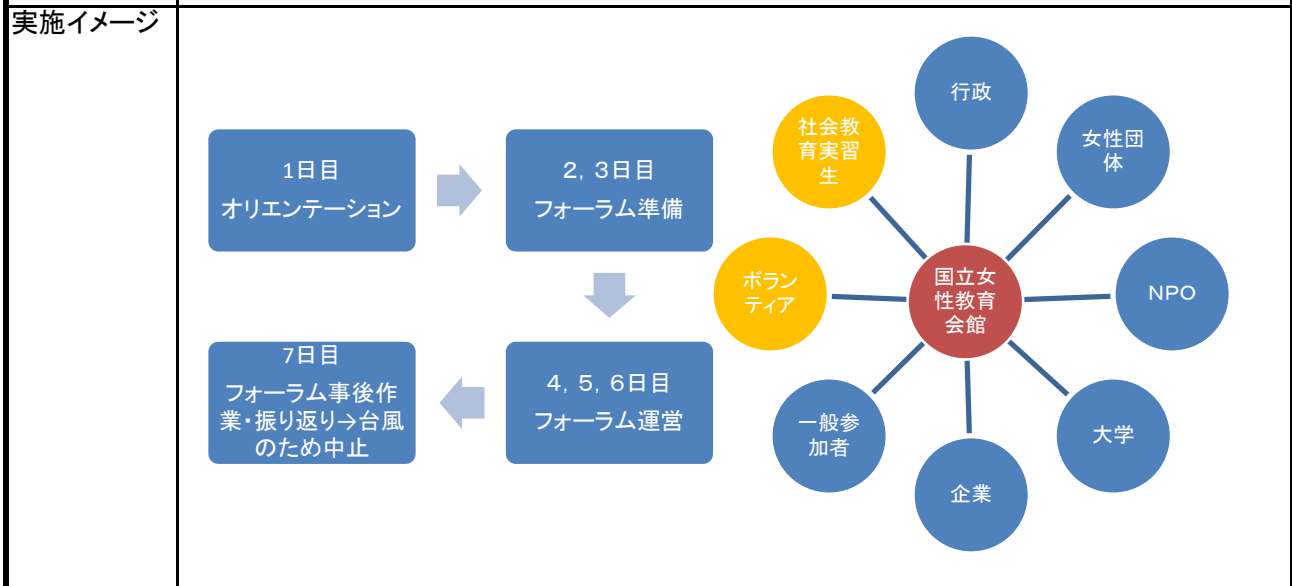
実習先	独立行政法人国立女性教育会館
目的・テーマ	(女性教育会館)地域・社会における子どもや大人の学びを企画・支援する基礎的知識・技術の習得
目的・概要	<p>受講学生・実習先の問題意識・背景・目的等</p> <p>独立行政法人国立女性教育会館での事業を通して、男女共同参画社会とは何か、現状と実現するための今後の課題について学ぶ。また、社会教育施設での事業がどのように企画、運営されていくのかを体験を通して学ぶ。</p> <p>概要</p> <p>会館概要説明、施設見学、女性教育情報センター見学・女性情報ポータル実習、研究国際室の事業説明、事業課の事業説明や今後の課題について 男女共同参画推進フォーラム事前準備作業 男女共同参画推進フォーラム運営</p>
分野	教育・福祉・子育て・環境・まちづくり・その他(男女共同参画)
形態・期間・人数	短期集中・7日間
方法	講義・見学・参加・体験
プログラム	<p>(事前)</p> <p>実習登録書・実習日誌の説明を行うとともに、実習に関する注意事項を講義し、訪問指導の教員から心構えを伝える。</p> <p>(事中)</p> <p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館概要説明…独立行政法人国立女性教育会館が設立された経緯や背景について学ぶ。 ・施設見学 ・女性教育情報センター見学・女性情報ポータル実習…施設の概要、資料やデータベースについて知り、これらの活用方法を学ぶ。 ・研究国際室の事業説明…調査研究事業や、男女共同参画社会の課題について学ぶ。 ・事業課の事業説明…事業課の組織図や事業展開、今後の課題について学ぶ。 <p>2～3日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課内ミーティングの参加 ・男女共同参画推進フォーラム準備作業(資料の挟み込み、館内説明会への参加、会場設営) ・他事業の資料の封入作業 <p>4～6日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進フォーラム運営(会場設営、スタッフ打ち合わせ参加、講演会会場係、アンケート回収、ワークショップ見学、片付け) ・他事業のアンケート集計作業 ・課内反省会の参加 ・インターンシップ全体を通しての反省会 <p>(事後)</p> <p>1時間20分のうち50分間のグループワーク(活動報告、受け入れ先の学習の場としての意義と課題、自分自身が学んだこと)をし、A4用紙に簡潔にまとめ、グループ発表。 担当教員による30分間の全体講評、アンケートの記入。</p>
方法論上の特記事項	

成果

(学生)
 一つ目の「男女共同参画」に対する学びは、主にフォーラムを通して得た学びである。今回は、運営者としてかかわると同時にフォーラムへの参加もさせていただいたが、団体によって「男女共同参画」について考える視点が全く異なっており、新しい視点を得られたことでこれまでつながっていなかった知識や考えが結びつき、一つの関連したものになった。新たな視点として、女性の活躍を推進するためには、男性の視点からも考えていく必要があるということが挙げられる。例えば、男性が育児休暇を取得できれば女性は子育てが楽になり、仕事もしやすくなるかもしれない。しかし、男性の立場からすると職場の雰囲気や日中に男性が働いていないことに対する地域の目の厳しさを考えると敬遠してしまうという現状を知った。このような意見を聞くと、女性の働き方を変えていくには、男女を問わない働き方の改革と社会全体の考え方自体が変化しなければならないと学んだ。
 二つ目の「仕事をする事」に対する学びは、初めて社会人の一員として職場で働いて得た学びである。これまで以上に個人の行動に責任が伴ってくる、主体性が求められることを強く感じた。そして、主体性を持ったうえで職員同士の連携も重要になってくることを学んだ。フォーラムを開催するにあたって、資料作成や会場設営等の事前準備から当日の運営まで、自分の手が空けば協力し合う体制、フットワークの軽さが事業を成功させるうえで必要なのだと分かった。個人としての動きだけでなく、一つのチームとしての動き、その中にある自分の動きを意識しなければならないと感じた。

(受入先)
 日々の実習に臨むにあたり、目標と課題を設定し、職員、他校の実習生とも協力しながら熱意をもって取組む姿勢が形成された。

(その他、地域住民、連携先等)
 参加人数1000人以上(行政、女性団体、NPO、大学、企業などの担当者、一般参加者)



実施主体 関係情報